

地域医療連携センター

センター長 塚田暁

はじめに

新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行しましたが、医療機関においてはコロナウイルスの感染力は変わらない状況で未だに対応が迫られています。院内で発生しても大規模クラスターに至ることは無くなりましたが、以前ほどではありませんが診療制限をかけざるを得ない場合もあり、地域の医療機関の方々にはご迷惑をおかけいたしました。

当院が高度急性期の医療体制を維持していくためには、地域の先生方との個別具体的な連携＝アライアンス連携を拡大し、患者さんが必要な時に・必要な場所で・必要な医療を受けられる「地域完結型医療」を構築していくことが何より重要だと感じています。

人口減少社会における当院の役割を改めて考えつつ、地域の皆様とともに高知県の医療をより良くするために邁進していく所存ですので、引き続き当センターへのご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

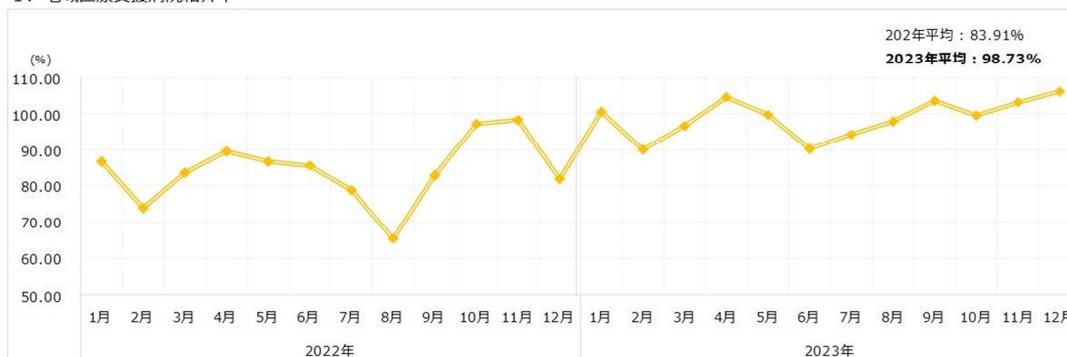
前方連携【患者さんの受け入れについて】

地域医療支援病院の紹介率は年間平均 98.83%で推移しており（昨年 は 83.91%）、平日時間内の初診患者さんに占める紹介患者さんの割合は前年に比べ上昇しました。

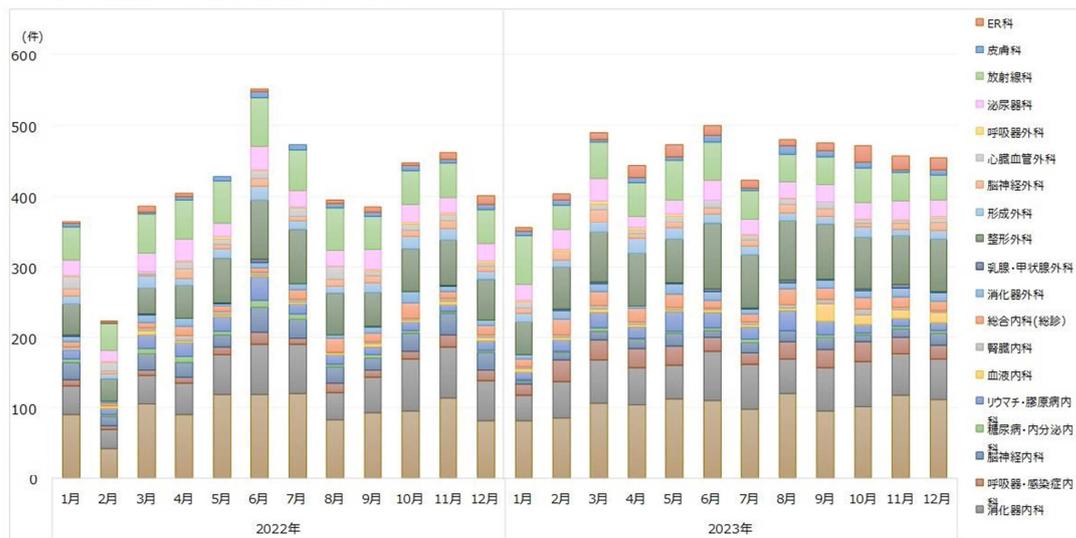
病院全体の紹介総数は前年比 511 件の増加となりました。そのうち当センターを介しての紹介患者さんの受け入れ件数は年間合計 5,424 件と前年比で 508 件のプラスとなりました。最も増加した循環器内科では、アブレーションを必要とする患者さんのご紹介が多く、近年増加傾向にあります。また、整形外科では昨年に続き、腰椎手術、膝関節手術を必要とする患者さんのご紹介が増えています。当センターとしては丁寧かつ迅速な予約調整を行い、信頼を高めていけるよう引き続き努力したいと思います。

次に、やむをえず紹介をお断りした件数は前年比で 33 件の増加となりました。内訳としてはベッド確保困難が約 59%、対応困難が約 25%、適応外その他が約 16%でした。前述の通り、5月に新型コロナウイルスが5類に移行しましたが、一時的に流行すると、使用できる一般病床が減少し、受け入れに制限が掛かることが要因の一部となりました。

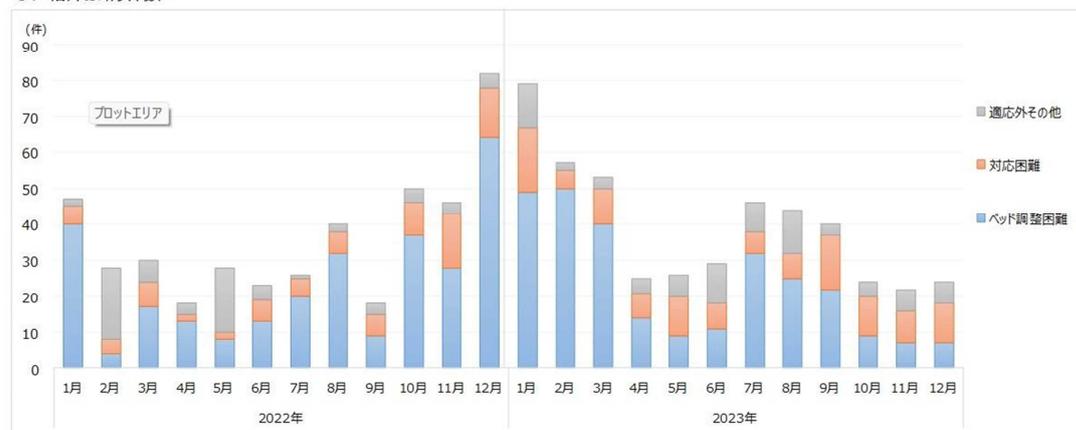
1. 地域医療支援病院紹介率



2. 地域医療連携センター経由 紹介患者受け入れ数



3. 紹介お断り件数

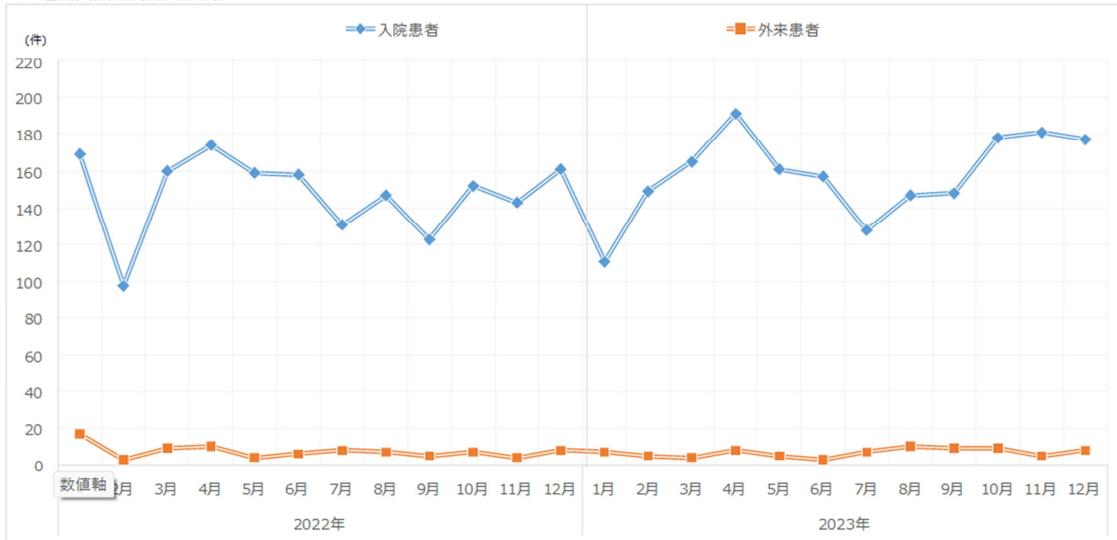


後方連携【患者さんの退院・転院支援について】

2023年新型コロナウイルス感染発生時の対応は変化し、医療機関の受入が完全に停止されることは稀となり退院支援への影響は前年に比べて限局的となりました。連携先への訪問や来訪の機会が増え、電話や画面越しとは異なるコミュニケーションがとれることを改めて実感しています。また、面会制限が緩和されたことにより家族との直接面接機会が増え、現状の共有や意向確認において支援の充実につながったと考えています。

10月下旬より、ER担当者を固定して緊急入院患者への初期支援とERからの入院相談の充実を試みました。取り組みを振り返り、今後の体制強化へとつなげていく予定です。

4. 退院支援部門介入状況



人事面について

2023年12月末現在で医師1名・看護師4名・SW16名・事務6名(非常勤含む)の総勢27名の体制となっています。